

【第二表】

平成 29 年分の 所得税 及び 復興特別所得税 の確定申告書 A

住所 〇〇市△△町X-XX-X
フリガナ 国税 太郎

○ 所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	給料 〇〇産業株式会社	1,044,000	0
配当	株式の配当 株式会社 〇〇商事	60,000	9,189
雑	国民年金 厚生労働省	780,100	0
雑	〇〇年度 〇〇組合	2,499,600	69,407
雑	原稿料 〇〇出版	250,000	25,525
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計			104,121

○ 雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等
配当	上記のとおりに	60,000	0
雑	上記のとおりに	250,000	50,000
一時	生命保険金 〇〇生命	5,000,000	1,860,000

○ 住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所
 16歳未満の扶養親族 個人番号
 給与・公的年金等に係る所得以外(平成30年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択
 配当に関する住民税の特例
 非居住者の特例
 配当割額控除額 3,000
 寄附金税額控除 都道府県、市区町村分 32,000 条例指定分 都道府県、市区町村
 別居の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所

整理番号

FA0067

○ 所得から差し引かれる金額に関する事項

⑥ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払保険料	⑦ 掛金の種類	支払掛金
	国民健康保険	324,996		
	源泉徴収票のとおりに	119,700		
合計		444,696	合計	

⑧ 生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計
	25,000	35,000
	新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計
		100,000
	介護医療保険料の計	
	90,000	

⑨ 地震保険料控除	地震保険料の計	旧長期損害保険料の計
	12,000	

本人該当事項
 寡婦(寡夫)控除
 勤労学生控除
 死別 生死不明
 離婚 未婚還

氏名 配偶者の氏名 生年月日
 国税 春子 明・大 昭・平 26.4.1
 配偶者控除
 配偶者特別控除

個人番号 XXXXXXXXXX
 扶養控除
 扶養控除特別控除

⑭ 扶養控除	控除対象扶養親族の氏名	続柄	生年月日	控除額
			明・大 昭・平	万円
			明・大 昭・平	万円
			明・大 昭・平	万円
			明・大 昭・平	万円
扶養控除額の合計				万円

⑮ 雑損控除

⑮ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など
	火災	29.9.2	住宅・家財
	損害金額	保険金などで補填される金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額
	5,800,000	5,300,000	280,000

⑯ 医療費控除	支払医療費等	保険金などで補填される金額
	180,000	55,000

⑰ 寄附金控除	寄附金の所在地・名称	寄附金
	〇〇市	32,000

○ 特例適用条文等

一連番号

第二表 (平成二十九年分以降用) 第二表は、第一表と一緒に提出してください。源泉徴収票、国民年金保険料や生命保険料の支払証明書など申告書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼ってください。

寄附金控除を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、寄附金控除を受ける場合

【第一表】

※ この記載例の申告書は、パソコンを利用して「確定申告書等作成コーナー」で作成したものです。

〇〇 櫻葉長
30年 2月 16日 平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 A FA0113

住所 (又は居所)	XXX-XXXX 〇〇市△△町X-X X-X	個人番号	XXXXXXXXXXXXXX
フリガナ	コクセ イ タロウ	氏名	国税 太郎
性別	男	世帯主の氏名	国税 太郎
世帯主との続柄	本人	生年月日	3 49 11 16
平成30年1月1日の住所	同上	電話番号	XX-XXXX-XXXX

マイナンバー (個人番号) を記入する必要があります。

明治・「1」
大正・「2」
昭和・「3」
平成・「4」

収入金額等		所得金額		所得から差し引かれる金額	
給与	7140000	給与	5226000	社会保険料控除	
公的年金等		雑		生命保険料控除	
その他		配当		地震保険料控除	
配当一時		合計	5226000	寡婦・寡夫控除	0000
合計		合計		勤労学生・障害者控除	0000
				配偶者(特別)控除	0000
				扶養控除	0000
				基礎控除	0000
				⑥から⑱までの計	2589196
				雑損控除	
				医療費控除	
				寄附金控除	195000
				合計	2784196

課税される所得金額	2441000
上の②に対する税額	146600
配当控除	
復興特別所得税額	3078
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	169500
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	19822
延納届出額	000

還付される税金の場
郵便局名等
XXXXXXXX

税理士
署名押印
電話番号

区分
整理
欄

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順3
11ページ
参照

手順4
20ページ
参照

手順5
24ページ
参照

手順5
24ページ
参照

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書 A 用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。



【第二表】

(寄附先の住所地・名称・金額)	
① ○○県 (ふるさと納税)	100,000 円
② ○○市 (ふるさと納税)	60,000 円
③ 住所地の日本赤十字支部	37,000 円
合計	197,000 円

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際とは異なります。

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順4
23ページ
参照

手順6
25ページ
参照

手順3
19ページ
参照

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 ○○市△△町X-X X-X

氏名 国税 太郎

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	○○産業株式会社 ○○部 T-1-1	7,140,000	169,500

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 国税 二郎 生年月日 平21-06-01

個人番号 XXXXXXXXXXXXXXX

給与・公的年金等に係る所得以外(平成30年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択

給与から差引き
自分で納付

配当に関する住民税の特例

非居住者の特例

配当割額控除額

税額控除

所得割額 160,000 税率 10% 額 16,000

所得割額 37,000 税率 10% 額 3,700

別荘の控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所

FA0067

所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類 支払保険料

社会保険料控除

社会保険料 合計

所得の種類 支払掛金

社会保険料 合計

⑧ 新生命保険料の計

⑨ 介護医療保険料の計

⑩ 地価

⑪ 氏名

⑫ 配偶者の氏名 生年月日

⑬ 扶養親族の氏名 続柄 生年月日 控除額

⑭ 損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など

⑮ 支払医療費等

⑯ 寄附先の所在地・名称

寄附金 197,000

特例適用条文等

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー（個人番号）も記入する必要があります。
 なお、還付申告の方で、申告する所得が年末調整を受けた給与所得のみの場合で、配偶者（特別）控除や扶養控除に異動がないときは、第二表の⑫～⑭欄のマイナンバー（個人番号）の記入を省略できます。

